

図書館通信

第 30 号 1 月 26 日 (月)
名古屋経済大学
高蔵高等学校・中学校 発行

「企画展示」・「新着図書」ポスターの紹介！



遅くなりましたが、今月の「企画展示」テーマを紹介します。今回の展示テーマは、NHK 大河ドラマ「豊臣兄弟！」に関連させて、「**織田信長・豊臣秀吉・徳川家康**」としました。3 人の伝記や戦国時代に関する本を展示しています。特におもしろそうな本は次の 2 冊。**黒田基樹『秀吉を天下人にした男 豊臣秀長』**(講談社現代新書、2025 年)、**渡邊大門『羽柴秀長と豊臣政権』**(ちくま新書、2025 年)です。「豊臣兄弟！」の歴史的背景を学ぶことで、ドラマをより楽しく見ることができるのではないのでしょうか。



また、図書委員の制作した「新着図書ポスター」が、職員室中央扉横や図書館入口などの掲示板に張り出されています。今回のポスターも力作ぞろいです。こちらをご覧ください。

今号の通信で紹介したい本は、**今井むつみ・秋田喜美『言語の本質 ことばはどう生まれ、進化したか』**(中公新書、2023 年)です。2024 年の「新書大賞」第 1 位に輝いた通り、本書は知的な刺激に満ちています。幼児が好んで用いるオノマトペー「ドスン」、「ゲラゲラ」、「わくわく」などの擬音語・擬態語・擬情語への考察から始まって、「言語の習得と起源・進化」の過程が跡づけられ、「言語の本質」が議論されています。具体的な事例から普遍的な問いに論点を広げていく様が鮮やかで、本書を読んでいて、飽きが全くきません。特に興味深かったのが、ヒトと動物を分ける特徴を論じた第 7 章。言語学・心理学・神経科学などの知見を動員して、「アブダクション推論」—目の前のできごとを説明するための仮説をつくりだす推論—こそがヒト固有の思考方法であり、それがまた、人類の進化を促したとします。初めて学ぶことがたくさんありました。ぜひ、本書を手にとってみてください！

今井むつみ
秋田喜美 著

言語の本質

ことばはどう生まれ、進化したか



なぜヒトだけが
言語を持つのか



豊臣兄弟！ 名古屋中村 大河ドラマ館

この地から、

ふたりの夢が甦る。

令和8年1月24日(土)開館

- 開館期間** 令和8年1月24日(土)～令和9年1月11日(月)
開館時間 午前9時～午後5時(最終入館 午後4時30分)
休館日 原則無休(主催者等の都合で変更となる可能性あり)
開催場所 名古屋市中村区 中村公園「豊臣ミュージアム」内
アクセス 地下鉄東山線「中村公園」駅3番出口より北へ徒歩約10分

入館料	大人 (高校生以上)	小人 (小中学生)
	前売券 640円 当日券 800円	320円 400円
団体(20名以上)	640円	320円
年間パスポート	2,500円	1,300円

【特設サイト】



主催／名古屋市・名古屋市中村区大河ドラマ「豊臣兄弟！」活用推進協議会 お問合せ／株式会社JTB 名古屋事業部(運営管理事業者) 電話：052-551-2413